

粟田大燈呂プロジェクト

— 180年の歴史を復活させた祭の担い手に！ —

京都東山にある粟田神社。千年の歴史を持つ粟田祭はこの社最大の祭礼行事です。粟田大燈呂は「燈籠を灯して神輿に先行すること、数百、様々な創り物があり、衆人の目を驚かす。見物人おびただしくあり」「大燈呂(大きな燈籠の創り物)有り、二間方大略あり」とこの神事の記録(永禄10年)があり、ねぶたの原型とも推論されています。天保3年以前に途絶えたといわれるこの「夜渡り神事」を、180年ぶりにアートで復活させ今回で18年目。単なる制作だけではなく、神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査、京都の歴史・芸術・文化を掘り下げ、そこから見えてくる日本人の感性を捉えなおし、モノづくりとはどういう事なのかを考察します。京都の、日本の祭りを再発見し、モノづくりにおける「モノがたり」が如何に必要であるかを経験から探し、より一步進んだグループワークを体験します。



在学生:3月26日～3月27日13:00まで(面談有り)

新入生:4月3日～4月7日17:00まで(面談無し 抽選)

ともにエントリーフォームよりエントリー

- | | |
|--|-------------------------|
| □ 単位認定 芸術教養科目 ※シラバスに記載 | □ 定員 35名程度(応募者多数の場合は抽選) |
| □ 履修対象 全学科・全学年 | □ 授業日 月曜日3,4限 |
| □ 担当教員 山田純(非常勤講師)、森岡厚次(芸術教養センター)、山川藍(非常勤講師) | |
| □ プロジェクトの特徴(経験できること、身に付く力) | |
| <ul style="list-style-type: none"> グループでの「からくり仕掛けの巨大造形物」の制作、ものづくりの楽しさとチームワーク力が身に付く。 アートで地域を活性化させる実例を学べる。 京都の祭りに参加し、地域振興や歴史についての知識を深めることができます。 | |
| □ スケジュール(概要) * 予定は変更になることがあります。 | |

日時	内容
3月28日(在学生)	面談 13時30分から15時 29日抽選発表 ※応募者多数の場合
4月1日	履修登録締切り
4月3~7日(新入生)	履修登録期間(エントリーと履修登録両方必要) 抽選発表※応募者多数の場合
4月14日	キックオフミーティング
5月末	粟田地域に関するレクチャー、デザイン企画
6月～7月	プレゼンテーション
夏季集中授業	図面・模型による大燈呂制作
10月	大燈呂制作 納品・展示運営、粟田祭「夜渡り神事」巡行

□ 履修にあたっての注意事項

必ずシラバスを読み、内容、スケジュール、その他注意事項をよく確認してください。

□ 粟田大燈呂プロジェクトを履修する為の科目名

1年生は、社会実装プロジェクト1AW(1Q)、社会実装プロジェクト2AW(2Q)

クリエイティブ・プロジェクト AW【夏期】、社会実装プロジェクト3AW(3Q)

2年生、プロジェクト・マネジメント1AW(1Q)、プロジェクト・マネジメント2AW(2Q)、

プロジェクト・マネジメント実習 AW【夏期】をすべて履修すること。

(昨年のプロジェクト科目履修状況によって異なるため、プロジェクト説明会にて個別相談を行います。)

3年生以上は学科や履修状況によって履修内容が異なるため、必ず面談を受けること。

【エントリーフォーム】

https://docs.google.com/forms/d/1ldqW7LML5iCM4Ul6IAATH_WPBSVlqjlokTCc1beQJg/edit



□ 問合せ先(応募先ではありません): 芸術教養センター(プロジェクト担当)project@office.kyoto-art.ac.jp